部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会議名	令和4年度 第3回片瀬・江の島まちづくり協議会
開催日時	2022年(令和4年)6月16日(木) 午後6時30分から午後8時20まで
開催場所	片瀬市民センター ホール
出席者	委員:19人(総数 22人) (出席者) 畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷(晴) 副会長、 徳江副会長、飯森委員、藤原委員、小川委員、甘粕委員、 阪井委員、岩田委員、渡辺委員、依藤委員、吉見委員、 岡田委員、山口委員、甲斐委員、福島委員、近藤委員、 保川委員、西永委員 事務局:7人(出席者 横田センター長、森井主幹、下間、関口、 國松、吉岡、富樫)
報告	(1) ボランティアセンター運営委員会 6月25日開催のわくわく教室に参加する。また、今年度から正式事業として、ひだまり教室を実施する。 (2) 青少年健全育成部会前年度の意見交換会での申し送り事項と、先日、公民館事業として開催された「ぼうさい探検隊」について検討を行った。 (3) 郷土文化推進部会 片瀬こま保存会の活動状況について報告。また、わくわく教室で片瀬こまの体験が行われるまた、「片瀬歴史マップ」活用について検討され、公民館事業と共同実施について検討。今後は、知見を深めるため、内部研修をしていきたい。 (4) 人材・情報バンクセンター運営委員会前年度からの課題の振り返り、今年度の活動について検討。また、8月15日から9月30日の期間で地域活動見学&ボランティア体験会開催する。 (5) 生活環境協議会4月に開催されたクリーン活動の結果を地域回覧する。また、ごみゼロキャンペーンについて、生環境の環境部長を中心に活動した。 (6) 片瀬一市民スポーツの会今年度のプール開放事業及びカッパ祭りは、中止となったことが報告された。また、今後の事業予定は、8月28日に公民館事業のボッチャ大会への協力をする。なお、地区レクリエーション大会を10月2日に開催する予

議題	定。 (7)青少年育成協力会 6月25日にわくわく教室が開催される。 (8)社会福祉協議会 9月27日から29日の3日間、敬老会を開催する予定。民生 委員の現況調査の際に案内を配布している。 (1)検討課題について (2)広報事業ワーキングについて (3)意見交換について
議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	(1)検討課題について(資料2) 第1回全体会で検討し承認された内容を一部修正したいため、修正箇所の説明を行った。 『変更点(案)』 1点目は、地域広報事業について(議題(2)で詳細説明)。 2点目は、前回全体会において西永委員から提案された事業を、人材・情報バンクセンターでのサブ事業とする。 3点目は、岡田委員から提案された片瀬山公園整備に伴う、勉強会の取扱い。 4点目は、公募委員と団体推薦委員の意見交換の統合について。なお、別紙資料を基に、勉強会の位置づけについて説明。 岡田委員から提案があった片瀬山公園の整備については、有志を募り、市関係各課からの情報を収集しながら進める。 →質疑等なく修正(案)は承認
議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等	(2) 広報事業ワーキングについて(資料3) 各部会から1人ずつ希望者を募り、第1回部会を開催したい。 主な活動は、①情報発信の現状把握②情報発信の方法③活動内容 やスケジュールなどの検討を行う予定。 山口委員(郷土)、桐生委員(JJBC)、飯森委員(青少年)が 確定している。未確定の部会や立候補を希望する委員については、 後日、事務局まで報告を依頼。 (3) 意見交換について(資料4) 前回の全体会で公募委員から出された「防災」、「情報」、「祭り」 の3テーマについて、4グループに分かれテーマごとにそれぞれ1 0分ずつ検討を行い、グループ発表を行った。 『1グループ』 【防災について】 自主防災協議会や各自治町内会の取組みがわかりづらい。 他の地区の動向についてもわからないことから、各地区の現状や 活動を知る場があれば良い。必要に応じてまちづくり協議会などで 取り上げてもよいのではないか。 【情報について】

紙媒体を基本とすることは変わらないが、HPに様々なマップや情報などを入れていくほうが良い。

SNS等を活用した情報発信、防災ラジオの活用などが進めば良いのでは。

【祭りについて】

片瀬山には夏祭りはあるが、神社がないので、気軽に触れ合える 場がない。

『2グループ』

【防災・情報について】

車での避難、観光客への避難対策をどのようにするかが課題。 公助の観点から、正確な情報を出すことが必要である。

垂直避難の情報も大切。QRコードなどを活用しての情報発信も 有効。

【祭りについて】

議題に対する検討 事項・決定事項・ 意見等

3大祭りの正しい情報を伝えるためにも、QRコードを活用することが有効である。

『3グループ』

【防災について】

障がい者に対しての防災訓練ができていないことが今後の課題。 また、マンションに住んでいる人への対応についても必要。 防災ラジオをさらに有効活用し、情報発信ができないか。

【情報について】

高齢者への情報発信が取り残さないよう、地域全体で取り組んでいかなければならない。

【祭りについて】

神事のため、神社が中心となって話し合う必要があるが、地域の 人がいなければ祭りも成立しない。流れを大事にしつつ、神社に考 えてもらいたい。

『4グループ』

【防災について】

津波発生時の対応について、避難行動に対する周知や避難方法 等、各自治町内会で検討することや、他自治町内会から助言を受け るなどしたほうが良い。

また、マンション内には自治町内会が入れないので、マンションの管理組合などが中心となり避難行動を検討してもらいたい。

【情報について】

デジタルと紙の併用が必要。紙は見やすくなるよう工夫する必要がある。どの世代をターゲットにするかで、見せ方を工夫したほうが良い

【祭りについて】

地域の祭りを継承していくことが必要。子どもの頃からお囃子な

	ど経験することも必要。 また、お祭りがについての情報を発信する必要がある。
次回までの 確認事項	1 修正後の検討課題に基づく各種事業の検討。 2 広報ワーキングの立ち上げ。
その他	特になし
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時:2022年(令和4年)7月21日(木) 午後3時30分 から 場所:片瀬市民センター ホール